

県政の最重要課題の一つ、旧県庁舎跡地活用について。平成 22 年に民間懇話会から提言を受けて既に 14 年、新県庁舎竣工からは早 6 年が経過しています。

現時点での配置のイメージと工程は以下の通りとなっています。

一年でも早く完成させねばなりません、ずっともやもやしていたものがあり、先日ある関係者と協議をするなかで今の進め方に欠けていることがあることに気づかされました。

それは「跡地をどうするか？」にばかり関心が集まり、この地域を面として捉え、どう人の導線

を考え「浜の町に人を誘導するか」、それにあわせて「周辺をどう整備するか」の視点が抜け落ちています。

そこでこの地が「長崎市歴史的風致維持向上計画の指定地区である」ことから、先行して取り組まれている「松が枝周辺地区整備構想」での取り組みと同様に、長崎市が「グランドデザイン」を計画し事業展開することにより、縣市一体となった取り組みに軌道修正を試みたいと考えています。

現在、長崎市と協議中です。

「つなぐ力」を形に。



今後の進め方 ※暫定供用による利用状況等の検証を踏まえた設計・整備

- 石垣上や第一別館跡地付近等のオープンスペースを暫定供用し、利用状況等を検証のうえ、その後の設計・整備を検討
- 暫定供用においては、石垣上等の整地や仮設の階段等の設置などの基礎的工事を先行して実施。利用状況等を踏まえ、暫定供用において必要となる追加整備等を検討

		令和3年度	4~5年度	6年度以降
全体ロードマップ		基本構想	整地など 利用状況等を検証	設計・整備
オープンスペースの利用状況等を検証のうえ、設計・整備を実施				
県庁舎跡地	石垣上	一部活用	整地など 利用状況等を検証	設計・整備
	石垣下	見える化検討・設計・整備 (石垣改修)		
		方向性の整理・設計・整備 ※利活用する場合		
	情報発信 (魅力等) 第一別館跡地 第二別館跡地	一部活用	整地など 利用状況等を検証	設計・整備 (階段・バスベイ等)
県警本部跡地 (交流支援)		(民間開発による設計・整備を想定)		

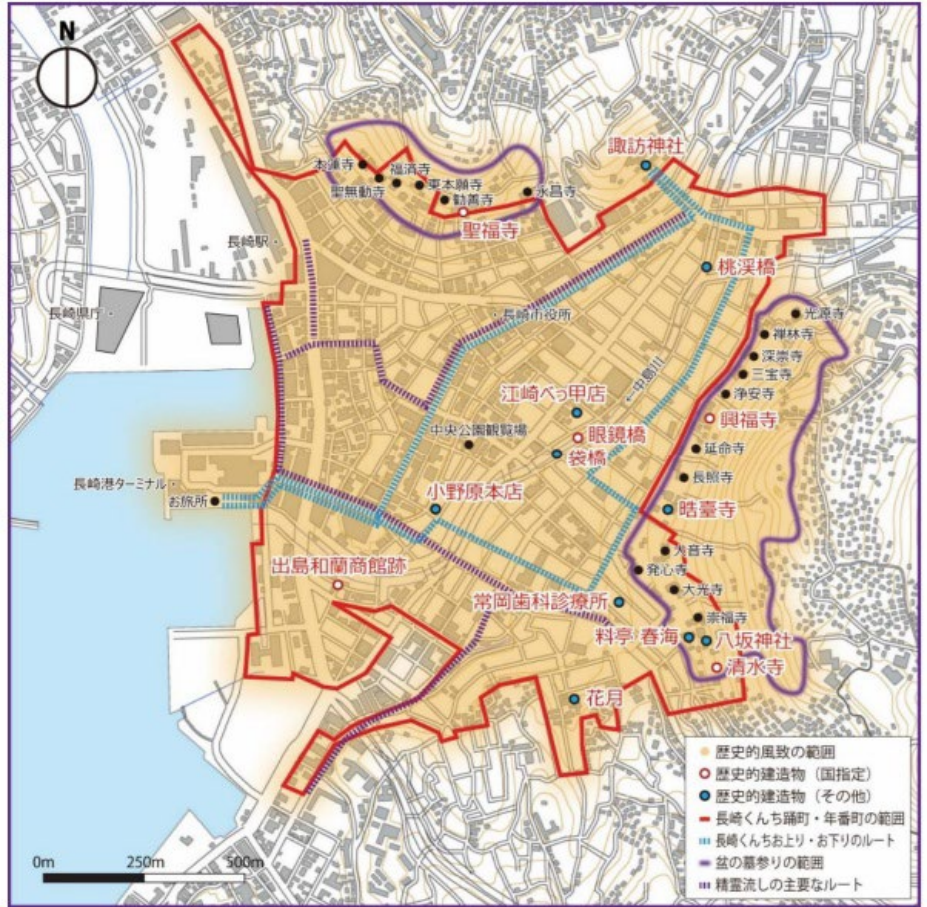
※個々の箇所の設計・整備の時期は、検証状況に応じて異なる可能性がある



【今回、旧県庁舎跡地整備に導入を目指す、既に展開されている事業】

■長崎市歴史的風致維持向上計画

- 策定主体 長崎市
- 計画期間 R2～R11年 (10年間)
- 維持向上すべき 5つの歴史的風致
 - ・近世長崎の町人文化 (市中心部)
 - ・中国文化の伝来 (市中心部)
 - ・長崎居留地の海外交流 (東山手・南山手地区) ※重点区域 (ランドデザイン策定済み)
 - ・外海の石積文化 (外海地区)
 - ・被爆継承と平和の祈り (平和公園地区)



■松が枝周辺地区整備構想

- 策定主体 長崎県・長崎市
- 計画期間 R5～R14年 (10年間)
- 整備構想の構成 (右図)

